

「教務運営に関するアンケート」質問項目

本アンケートの回答は事前登録後に送られるアンケートフォーム URL からお願いいたします。

（ご登録いただいたメールアドレス宛に7月11日以降、随時 URL をお送りいたします。）

回答期間は令和7年7月11日（金）～9月5日（金）です。

《本アンケートについて》

1. 東京都内私立高等学校（全日制・昼間定時制・通学型通信制高校）全校が対象です。
2. 設問数は52問～72問です。（ご回答内容によって設問数が変わります）
3. 質問ページから表示される、右上のボタン（Save and continue later）から入力途中の保存が可能です。右上のボタンを選択後、メールアドレスを入力し Save を選択してください。再開用の URL が記載されたメールが送信されます。設定によってはメールを受信できない場合がございますので、必ず受信を確認してからページを閉じるようにしてください。
4. 全問回答後、回答内容を確認できます。pdf で保存も可能です。

《回答時のお願い》

1. ページ移動の際にはブラウザの戻る／進むボタンは使わず、必ず下部の Back／Next（スマートフォンなどの場合は< / >）を使用してください。
2. 不明点があった場合などにお問い合わせさせていただくため、学校名とご担当者名、メールアドレスは必ずご入力ください。
3. アンケートには7月1日時点でお答えください。
4. 中学校を併設している学校は高等学校のおおよその目安でお答えください。
学科あるいは類型別選択制（コース制）などにより回答が異なる場合も、学校単位で集計しますので、標準的なものでお答えください。

教務運営に関するアンケート

中学校を併設している学校は高等学校のおおよその目安でお答えください。

1. 設置している学科は(複数選択可)

1. 普通科 2. 商業科 3. 工業科 4. 総合学科 5. 音楽科 6. その他()

2. 学校種別は

1. 男子校 2. 女子校 3. 共学校 4. 男女校(男子部・女子部に分かれている学校)

3. 幼稚園・小学校・専修学校を除いた併設校は(複数選択可)

1. なし 2. 中学校 3. 短大 4. 大学(院)

4. 本年 7 月 1 日現在の全学年(高1~3)の在籍者数は

1. 300 人以下 2. 301~600 人 3. 601~900 人 4. 901~1200 人
5. 1201~1500 人 6. 1501~1800 人 7. 1801~2100 人 8. 2101 人以上

5. 本年 7 月 1 日現在の全学年(高1~3)のクラス数は

1. 6 クラス以下 2. 7~12 クラス 3. 13~18 クラス 4. 19~24 クラス
5. 25~30 クラス 6. 31~36 クラス 7. 37~42 クラス 8. 43 クラス以上

6. 高校1クラスあたりの平均生徒数は

※ $\frac{\text{高 1~3 学年の在籍生徒数}}{\text{高 1~3 学年のクラス数}}$ 、小数点以下は切捨て

1. 25 人以下 2. 26~30 人 3. 31~35 人 4. 36~40 人 5. 41~45 人 6. 46~50 人
7. 51 人以上

7. 高校の専任教員(校長を含む)の数は

1. 20 人以下 2. 21~30 人 3. 31~40 人 4. 41~50 人 5. 51~60 人 6. 61~70 人
7. 71~80 人 8. 81~90 人 9. 91 人以上

8. 高校の専任教員(校長を含む)1人あたりの生徒数は

※ $\frac{\text{高 1~3 学年の在籍生徒数}}{\text{高校専任教員(校長を含む)数}}$ 、小数点以下は切捨て

1. 10 人未満 2. 10~12 人 3. 13~15 人 4. 16~18 人 5. 19~21 人
6. 22~24 人 7. 25~27 人 8. 28~30 人 9. 31~33 人 10. 34 人以上

9. 高校の専任教員の週基準授業持時間数(HRを除く)は

1. 12 時間以下 2. 13 時間 3. 14 時間 4. 15 時間 5. 16 時間 6. 17 時間
7. 18 時間 8. 19 時間 9. 20 時間以上

10. 高校の非常勤講師の全教員に対する割合は

※ $\frac{\text{非常勤講師数}}{\text{全高校教員数}} \times 100$ 、小数点以下は切捨て

1. 15%未満 2. 15～19% 3. 20～24% 4. 25～29% 5. 30～34% 6. 35～39%
7. 40～44% 8. 45～49% 9. 50～54% 10. 55%以上

11. 高校の非常勤講師の総持時間数の割合は

※ $\frac{\text{非常勤講師持時間数}}{\text{全高校教員持時間数}} \times 100$ 、小数点以下は切捨て

1. 15%未満 2. 15～19% 3. 20～24% 4. 25～29% 5. 30～34% 6. 35～39%
7. 40～44% 8. 45～49% 9. 50～54% 10. 55%以上

12. 学校週5日制を

1. 何らかのかたちで実施している 2. 実施していない

◆13～16 は、12 で1と回答した学校だけ質問が表示されます。

13. 5日制の形態は

1. 毎週土曜日を休みにしている 2. 隔週土曜日を休みにしている
3. 月3回土曜日を休みにしている 4. 月2回土曜日を休みにしている
5. 月1回土曜日を休みにしている 6. その他()

14. 専任教員の(日曜および祝日以外の)休日・研究日・研修日は

1. 週1日 2. 週半日 3. 隔週1日 4. なし 5. その他()

15. 5日制を実施している上での問題点は(3つまでお選びください)

1. 教育課程・時間割編成 2. 授業日数と学校行事のバランス 3. 学力低下・大学入試への対応
4. 研究日・研修日 5. 土曜日の学校行事 6. 部活動・クラブ活動 7. 家庭の理解
8. 特になし 9. その他()

16. 5日制を6日制に変更する予定は

1. ない 2. 本年度から実施 3. 次年度から実施 4. 検討中

◆17 は、12 で2と回答した学校だけ質問が表示されます。

17. 専任教員の(日曜および祝日以外の)休日・研究日・研修日は

1. 週1日 2. 週半日 3. なし 4. その他()

◆18～22 は、本年度入学生についてお答えください。

18. 類型別選択制(コース制)を

1. 実施していない 2. 1年のみ実施 3. 2年のみ実施 4. 3年のみ実施
5. 1年と2年で実施 6. 1年と3年で実施 7. 2年と3年で実施 8. 全学年で実施

19. 選択科目は 高1では

- 1. なし 2. 選択必修科目のみ 3. 自由選択科目のみ(とってもとらなくてもよい)
- 4. 選択必修科目と自由選択科目の組合せ

20. 選択科目は 高2では

- 1. なし 2. 選択必修科目のみ 3. 自由選択科目のみ(とってもとらなくてもよい)
- 4. 選択必修科目と自由選択科目の組合せ

21. 選択科目は 高3では

- 1. なし 2. 選択必修科目のみ 3. 自由選択科目のみ(とってもとらなくてもよい)
- 4. 選択必修科目と自由選択科目の組合せ

22. 卒業に必要な修得単位数は

- 1. 74 単位 2. 75～78 単位 3. 79～82 単位 4. 83～86 単位 5. 87～90 単位
- 6. 91～94 単位 7. 95～98 単位 8. 99～102 単位 9. 103～106 単位 10. 107 単位以上

23. 選択必修科目を実施するときの最低人数は

- 1. 1人でも実施 2. 2～4人 3. 5～9人 4. 10～14 人 5. 15～19 人 6. 20 人以上

24. 自由選択科目を実施するときの最低人数は

- 1. 1人でも実施 2. 2～4人 3. 5～9人 4. 10～14 人 5. 15～19 人 6. 20 人以上
- 7. 自由選択科目を設定していない

25. 卒業基準における履修、修得については

- 1. 履修したものはすべて修得しなければならない
- 2. 履修したもののうち、学校指定の科目はすべて修得し、それ以外は修得しないものがあってもよい
- 3. 履修したもののうち、修得しないものがあってもよい

26. 授業の1単位時間は通常

- 1. 40 分 2. 45 分 3. 50 分 4. 55 分 5. 60 分 6. 65 分 7. その他()

27. 習熟度別学級編成(HR を習熟度別に編成する)を

- 1. 実施していない 2. 実施している

28. 習熟度別授業(特定の教科・科目を習熟度別に編成し授業する)を

- 1. 実施していない 2. 実施している

◆29～33 は、28 で2と回答した学校だけ質問が表示されます。

29. 習熟度別授業の教科は(複数回答可)

- 1. 国語 2. 地理歴史・公民 3. 数学 4. 理科 5. 芸術 6. 外国語 7. 情報 8. その他()

30. 習熟度別授業編成の方法は

1. 学習成績による
2. 生徒の希望による
3. 進路による
4. 学習成績と生徒の希望による
5. 学習成績と進路による
6. 生徒の希望と進路による
7. 学習成績・生徒の希望・進路による
8. その他()

31. 習熟度別授業を実施するとき年度途中で編成替え(入れ替え)を

1. 行わない
2. 行う
3. 教科により異なる

32. 習熟度別授業を実施しているときの試験の方法は

1. 全教科とも共通問題
2. 一部の教科で共通問題
3. 全部の教科で習熟度別問題
4. 共通問題と習熟度別問題を両方入れる
5. その他()

33. 習熟度別授業を実施するときの評価・評定は

1. すべて習熟度別にかかわらずに評価する
2. すべて習熟度別ごとに評価する
3. 教科により異なる
4. その他()

34. 学年の評価・評定の方法は

1. 絶対評価
2. 相対評価
3. 相対評価を加味した絶対評価
4. 絶対評価を加味した相対評価
5. 教科によって評価の方法が異なる
6. その他()

35. 講習(学力促進の発展的な指導、受験のための指導など)を(複数回答可)

1. 実施していない
2. 始業前に実施する
3. 放課後に実施する
4. 土曜日に実施する
5. 夏休みに実施する
6. 冬休みに実施する
7. 春休みに実施する
8. その他()

36. 補習(学力遅進の生徒のための補充的な指導)を(複数回答可)

1. 実施していない
2. 始業前に実施する
3. 放課後に実施する
4. 土曜日に実施する
5. 夏休みに実施する
6. 冬休みに実施する
7. 春休みに実施する
8. その他()

37. 定期試験において、障害のある生徒や特別な配慮を要する生徒に対し、行っている合理的配慮は(複数選択可)

1. 試験時間の延長
2. 別室での受験
3. 解答方法の配慮(例:口頭試問、リスニング試験の免除など)
4. 支援機器の使用許可
5. その他()

(3 と回答した学校は、内容をご入力いただく記述回答欄が表示されます。)

38. クラス運営、授業、行事などにおける合理的配慮の実施状況は(複数選択可)

1. 出席・遅刻・欠席などの記録・扱い
2. 提出物の締切や形式
3. 授業中の指示・説明方法
4. 校外学習や行事参加
5. 保護者対応や連絡手段
6. その他()

39. ICT 活用の促進を

1. 全学的に実施している
2. ほとんどの教科、学年で実施している
3. 特定の教科や学年によっては実施している
4. 個人の裁量において実施している
5. ほとんど(あるいはまったく)実施していない

40.生成 AI を授業で活用しているか(複数選択可)

※学校全体の取り組みだけでなく個人としての取り組みも含めてお答えください。

1. 授業準備に活用している(プリント、スライド、課題など)
2. 生徒の学習活動に活用している
3. 生徒の振り返りに活用している
4. 評価・評定に活用している
5. 活用していない
6. 今後活用を検討している
7. その他()

41.生成 AI を(授業を除き)業務で活用しているか(複数選択可)

※学校全体の取り組みだけでなく個人としての取り組みも含めてお答えください。

1. 校内向け文書(通知・会議資料など)の作成
2. 生徒・保護者向け文書(連絡文など)の作成
3. データ集計・分析
4. 校務システムへの入力補助
5. 活用していない
6. 今後活用を検討している
7. その他()

42.生成 AI を活用する力を育成するためのカリキュラム・授業設計は(複数選択可)

※学校全体の方針またはご自身の実践を含めてお答えください。

1. 生成 AI の活用を見据えた学習目標や評価基準を設定している
2. 指導計画やカリキュラムに生成 AI の活用を組み込んでいる
3. 一部の教科・単元で試行的に取り入れている
4. 生成 AI の使い方やリテラシーに関する指導の時間を設けている
5. 現在、整備・検討を進めている
6. 現在、整備の予定はない

(6 と回答した学校は、内容をご入力いただく記述回答欄が表示されます。差し支えなければ理由をお答えください)

43. 一般教室の数に対する電子黒板またはプロジェクターの台数の割合は

1. 20%未満
2. 20～29%
3. 30～39%
4. 40～49%
5. 50～59%
6. 60～69%
7. 70～79%
8. 80～89%
9. 90～99%
10. 100%

44. タブレットやノートPC等の情報端末を生徒が利用する授業を全学的に

1. 令和 6 年度以前から実施
2. 本年度から実施
3. 次年度から実施予定
4. 検討中
5. まだ検討していない

45. 生徒が授業で利用するタブレットやノートPC等の情報端末は

1. 全員が購入
2. 全員に貸出し
3. 授業時に全員に貸出し
4. 授業時にグループごとに貸出し
5. 生徒の所持する情報端末を使用(BYOD)
6. 利用していない(または検討中)

46. 教員の情報端末(パソコン・タブレットなど)の授業での利用は

1. 貸与したもののみ
2. 貸与したものと持ち込んだものを併用
3. 持ち込んだもののみ

47. 定期試験を CBT で実施している科目が

1. ある
2. ない

◆48～49 は、47 で 1 と回答した学校だけ質問が表示されます。

48. 実施している教科は(複数選択可)

1. 国語
2. 地理歴史・公民
3. 数学
4. 理科
5. 外国語
6. その他()

49. 生徒の情報端末が故障等により使用できない場合はどのように対応しますか。
(自由入力)

50. デジタル採点を

1. 小テストや定期試験で導入している 2. 入試(中学も含む)で導入している
3. 小テストや定期試験、入試(中学も含む)の両方で導入している 4. 導入していない

51. 生徒が使用する情報端末の故障率の中で最も近いものをお教えてください。

1. 0～20% 2. 20～40% 3. 40～60% 4. 60%以上

52. 新入生のための校外オリエンテーションは通常

1. 実施していない 2. 日帰りで実施 3. 1泊で実施 4. 2泊で実施 5. 3泊以上で実施

53. 修学旅行は通常

1. 実施していない 2. 国内で実施 3. 海外で実施 4. 国内と海外で実施

(3 または 4 と回答の場合は行先(国名、都市名)をご入力いただく記述回答欄が表示されます。)

◆54 は、53 で2～4と回答した学校だけ質問が表示されます。

54. 修学旅行の泊数は通常

1. 3泊 2. 4泊 3. 5泊 4. 6泊 5. 7泊 6. 8泊 7. その他
-

55. 当日の急な欠勤などで欠講の科目が出た場合は(原則として)

1. 自習(監督なし) 2. 自習(監督あり) 3. 課題自習(監督なし) 4. 課題自習(監督あり)
5. 該当教科で授業を行う 6. 他教科で授業を行う 7. 時間割を変更し後日補充する
8. 該当時間をカットし時間割を組み替える 9. その他()

56. 外国語を教えるための外国人教師の人数は(いない場合は 0 と入力)

(人数を直接入力)

57. 英語以外の外国語の授業は(複数回答可)

1. 実施していない 2. ドイツ語を実施 3. フランス語を実施 4. スペイン語を実施
5. 中国語を実施 6. 韓国語・朝鮮語を実施 7. ロシア語を実施 8. イタリア語を実施
9. その他()

58. 海外留学の単位認定は

1. 規則に準拠して36単位までの範囲内で単位を認定している 2. していない

(1と回答した学校で、令和 6 年度の単位を認定した生徒がいる場合にはその男女別人数をご入力いただく記述回答欄が表示されます。いない場合は 0 とご入力ください)

59. 帰国生に対して

1. 帰国生入試を行っている 2. 一般入試で特別な配慮をしている 3. 1、2の両方を行っている
4. 1、2のどちらも行っていない 5. 高校入試は行っていない
(2または3と回答した学校は一般入試における特別な配慮の内容をご入力いただく記述回答欄が表示されます。)

60. 学期制と定期試験の年間回数は

1. 2学期制で定期試験の回数2回 2. 2学期制で3回 3. 2学期制で4回 4. 2学期制で5回
5. 3学期制で3回 6. 3学期制で4回 7. 3学期制で5回 8. 3学期制で6回 9. その他()

61. 生徒による授業評価を

1. 実施している 2. 実施していない

62. 観点別評価において3観点の比重は

1. 全て同じ 2. 類型別選択(コース)によって変えている 3. 全ての類型別選択(コース)で変えている

◆63～68 は、中学を併設している学校だけ質問が表示されます。

63. 中高6年間を通してのカリキュラムの編成を

1. していない 2. している

64. 中学で高校の先取り授業を

1. 実施していない 2. 国語で実施 3. 数学で実施 4. 英語で実施
5. 国語と数学で実施 6. 国語と英語で実施 7. 数学と英語で実施
8. 国語と数学と英語で実施 9. 国語と社会と数学と理科と英語で実施 10. その他()

65. 中学で習熟度別授業を

1. 実施していない 2. 国語で実施 3. 数学で実施 4. 英語で実施
5. 国語と数学で実施 6. 国語と英語で実施 7. 数学と英語で実施
8. 国語と数学と英語で実施 9. 国語と社会と数学と理科と英語で実施 10. その他()

66. 本年度の高校1年在籍者数のうちに占める併設中学校出身者数の割合は

1. 20%未満 2. 20～29% 3. 30～39% 4. 40～49% 5. 50～59%
6. 60～69% 7. 70～79% 8. 80～89% 9. 90～99% 10. 100%

◆67 は、66 で1～9 と回答した学校に質問が表示されます。

67. 高校での併設中学校出身者と高校からの入学者の学級編成の方法は

1. 1年から混合 2. 2年から混合 3. 3年から混合 4. 3年間別クラス 5. その他()

68. 中学・高校合同で行っている学校行事は通常(複数回答可)

1. 文化祭・学園祭 2. 体育祭・運動会 3. 始業式 4. 終業式・修了式
5. 入学式 6. 卒業式 7. 定期試験 8. なし 9. その他()

◆69～72 は、併設中学で実施している場合も含めてお答えください。

69. いわゆるキャリア教育を実施している場合には、その内容についてお答えください。(複数回答可)

1. 職業調べ・インタビュー
2. 職業体験・インターンシップ
3. 大学・学部・学科や学問の調べ学習
4. 大学・専門学校等の見学や訪問
5. 大学・専門学校等の授業への参加
6. 大学・専門学校等の出張授業
7. 卒業生・保護者・社会人等による講演
- 8.アントレプレナーシップ教育
- 9.金融教育
10. 実施していない
11. その他()

70. 探究学習または授業の中での探究的な学びをどの教科などで実施していますか。(複数選択可)

1. 総合的な探究の時間
2. 国語
3. 地理歴史・公民
4. 数学
5. 理科
6. 保健体育
7. 家庭科
8. 芸術
9. 外国語
10. 情報
11. その他()
12. 実施していない

◆71 は、70 で1～11 と回答した学校に質問が表示されます。

71. 探究学習において、大学や企業、地域社会などの外部機関と連携していますか。

1. 連携している
2. 連携していない

(1 と回答した学校は、内容をご入力いただく記述回答欄が表示されます。差し支えなければお答えください)

72. 学校として特に力を入れて取り組んでいるものは(4つまでお選びください)

1. グローバル人材の育成
2. 言語活動の充実
3. 理数教育の充実
4. 外国語教育の充実
5. キャリア教育の推進・充実
6. 道徳教育・生徒指導の充実
7. ICTの利活用・情報教育の充実
8. 協働学習や探究学習の推進・実践
9. 大学進学・受験指導の充実
10. 高大連携
11. SDGs
12. ダイバーシティ教育
13. その他()

—ご協力ありがとうございました。—

令和 7 年度 教務運営研究会 委員(支部・学校名)

委 員	星野 稔 (③目白研心)	秋葉 崇 (⑦朋優学院)
	高橋 香 (⑧成城学園)	辰見 憲 (⑨中央大学杉並)
	金子孝太郎 (⑩本郷)	小俣 晶平 (⑫吉祥女子)

【お問合せ先】

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

東京私学教育研究所 教務運営研究会 事務局担当:板澤・細川

Mail: itasawa@tokyoshigaku.com TEL: 03-3263-0544